

ベトナムで日本脳炎が発生

2010年6月17日 ProMED 情報

(Viet Nam News Agency(VNA)、Viet Nam News(VNS) report)



ベトナム保健省によると、5月末にウイルス性脳炎で7名が死亡しました。現在までに120名の患者が、ハノイ Ha Noi 市、ホーチミン HCM 市、ナムディン Nam Dinh 省、バクサン Bac Giang 省、グアン Nghe An 省、タインホア Thanh Hoa 省、ダクラク Dak Lak 省、およびドンナイ Dong Nai 省を含む15の都市と省で発生しました。

国立衛生疫学研究所によると、通常、この病気は5～8月の期間に、ベトナム北部と南部とも急速に広がるということですが、北部の省で最も高い発生率を報告したとのこと。

日本脳炎(JE)は、15歳以下の子供でよくみられる病気で、治療が遅れると死亡率は30%を超えます。

[ProMED 調整者]

この報告では、日本脳炎感染予防のための予防接種計画が示されていません。日本脳炎ウイルスは、セントルイス脳炎やウエストナイルウイルスと同じフラビウイルスの一種です。毎年10～50,000名の患者が報告されます。

日本脳炎ウイルスは、東南アジアではコガタアカイエカ群の蚊と野鳥で維持されています。流行地域の罹患率は人口10,000名当たり1～10名です。